

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 東
 コード番号 7647 URL <http://www.ontsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,522	△0.5	368	38.6	321	44.3	159	59.9
28年3月期第3四半期	13,589	3.2	266	65.8	222	123.1	99	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 164百万円(61.7%) 28年3月期第3四半期 101百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.82	0.81
28年3月期第3四半期	0.52	0.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	11,952	3,397	27.4
28年3月期	11,291	3,303	28.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,272百万円 28年3月期 3,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.12	—	0.12	0.24
29年3月期	—	0.12	—		
29年3月期(予想)				0.12	0.24

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,950	△0.1	444	38.2	378	42.1	149	63.1
								0.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	194,846,645株	28年3月期	194,733,645株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,353株	28年3月期	829,953株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	194,142,383株	28年3月期3Q	190,133,434株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き日本銀行によるマイナス金利政策のもと、大手企業をけん引役として企業業績や雇用環境が改善傾向にあり、個人消費は総じてみれば底堅い動きとなるなど、一部に改善の遅れがみられるものの緩やかな回復基調が続いています。一方で、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気下振れによるリスクや、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性の高まりによる影響も懸念されています。なお、当第3四半期連結累計期間における為替相場は、米国においてFOMCによる政策金利の引き上げ決定や大統領選挙の結果をうけて1ドル102円から117円にかけて円安が進行する動きとなりました。

このような状況の中、当社グループは、100円ショップを運営する食料品・生活雑貨小売事業、業務用カラオケ機器の賃貸・販売を行なうカラオケ関係事業及びスポーツクラブを運営するスポーツ事業を中心に事業運営を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は13,522,825千円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は368,641千円（前年同四半期比38.6%増）、経常利益は321,401千円（前年同四半期比44.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は159,407千円（前年同四半期比59.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①食料品・生活雑貨小売事業

当セグメントは、「FLET'S」及び「百圓領事館」等の100円ショップならびに食品スーパー「Fマート」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の12店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成28年4月15日	FLET'S コモディイダ竹の塚東店	東京都足立区
平成28年5月27日	FLET'S 神戸住吉店	神戸市東灘区
平成28年5月27日	FLET'S 東武ストア西川口店	埼玉県川口市
平成28年10月1日	FLET'S 逆瀬川店	兵庫県宝塚市
平成28年10月7日	FLET'S マルエツ新都賀店	千葉市若葉区
平成28年10月7日	FLET'S 明林堂コスパ防府店	山口県防府市
平成28年10月14日	FLET'S マミーズ高田店	福岡県みやま市
平成28年10月18日	FLET'S ベルクス豊四季店	千葉県柏市
平成28年11月4日	百圓領事館 相模大野MORE'S店	相模原市南区
平成28年11月24日	FLET'S サンディ忍ヶ丘店	大阪府四條畷市
平成28年12月1日	FLET'S イオンエクスプレス平野店	大阪市平野区
平成28年12月8日	FLET'S IMP店	大阪府中央区

一方で、賃貸契約満了のため、平成28年8月にFLET'S高槻城北店、平成28年9月にFLET'S筑後店が閉店いたしました。

当第3四半期連結会計期間末日現在、「FLET'S」「百圓領事館」等の100円ショップ直営店舗142店舗、同FC店舗6店舗、食品スーパー「Fマート」直営店舗4店舗の合計152店舗を運営しております。

当連結会計年度におきましては引き続き、FLET'Sマミーズ広川店（福岡県八女郡、平成29年3月）、FLET'Sサンコー丸和店（大阪市平野区、平成29年3月）のオープン準備をすすめております。

既存店舗におきましては、リニューアル工事や売場のレイアウト変更などを計画的に実施することで、お客様により一層ご利用いただきやすい店舗作りを目指すとともに、店舗運営面におきましては、食料品の粗利率の改善を進めるため、食料品と比較して粗利率の高い雑貨商品の構成比を大きくするなど、品揃えの見直しを計画的に進めてまいりました。また、100円以外の価格帯における新しい商品群の開発や提案も進めてまいりました。

この結果、当セグメントの売上高は10,464,156千円（前年同四半期比0.0%減）、セグメント利益（営業利益）は167,348千円（前年同四半期比165.0%増）となりました。

②カラオケ関係事業

当セグメントは、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸、卸売事業を中核事業とし、業務用ゲーム機器賃貸等事業も含んでおります。

カラオケ事業におきましては、業務用カラオケメーカー2社より商品の供給を受けており、カラオケ機器の導入提案のみならず、カラオケ店出店候補物件の紹介や内装提案なども手がけることにより、得意先に対するワンストップサービスの実現を目指しております。そのため、不動産事業者、ビルオーナーならびにビル管理会社などに対する営業の強化などにも積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、当セグメントの売上高は2,055,131千円（前年同四半期比6.5%減）、セグメント利益（営業利益）は111,663千円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

③スポーツ事業

当セグメントは、スポーツクラブ「JOYFIT」および、ホットヨガスタジオ「LAVA」を運営しております。

当第3四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の2店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成28年11月19日	JOYFIT 24 上甲子園	兵庫県西宮市
平成28年11月26日	JOYFIT 24 なかもず	堺市北区

当第3四半期連結会計期間末日現在、スポーツクラブ「JOYFIT」を3店舗、24時間型フィットネス・ジム「JOYFIT 24」を7店舗、ホットヨガスタジオ「LAVA」を1店舗運営しております。

当セグメントにおきましては、自社スタッフのサービスレベルの向上に引き続き取り組んでいる一方で、クラブ会員の要望をスタジオプログラムに反映させるなど、顧客満足度の向上にも取り組んでおります。また、新規入会者を対象としたオリエンテーションを定期的実施しており、入会後の定着率を高水準で維持しております。

この結果、当セグメントの売上高は627,178千円（前年同四半期比18.6%増）、セグメント利益（営業利益）は136,121千円（前年同四半期比45.2%増）となりました。

④IP事業

当事業部門は、店舗及び住宅の賃貸ならびにコインパーキング「T.O.P. 24h」の運営をしております。

当第3四半期連結累計期間における賃貸店舗、賃貸住宅の新規設置はなく、コインパーキング「T.O.P. 24h」の新規出店店舗は、次の9ヶ所86車室であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成28年11月10日	T.O.P. 24h 田島①	大阪市生野区
平成28年11月10日	T.O.P. 24h 出城①	大阪市西成区
平成28年11月10日	T.O.P. 24h 出城西②	大阪市西成区
平成28年11月18日	T.O.P. 24h 長橋①	大阪市西成区
平成28年11月18日	T.O.P. 24h 出城西①	大阪市西成区
平成28年11月18日	T.O.P. 24h ひらき西①	大阪市西成区
平成28年11月30日	T.O.P. 24h 千本中①	大阪市西成区
平成28年11月30日	T.O.P. 24h 生野東①	大阪市生野区
平成28年11月30日	T.O.P. 24h 松之宮①	大阪市西成区

一方で、2ヶ所14車室を解約するとともに、既存店舗におきましては7車室を増設いたしました。

コインパーキング事業におきましては、当第3四半期連結会計期間末日現在、大阪府、兵庫県、京都府におきまして63ヶ所628車室のコインパーキングを運営しております。近隣の競合状況や利用実績などを細かく分析してきめ細かな運営をしております。

しかしながら、当セグメントの売上高は376,358千円（前年同四半期比5.5%減）、セグメント利益（営業利益）は9,117千円（前年同四半期比53.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は11,952,808千円(前連結会計年度末比661,678千円の増加)となりました。

流動資産は5,546,904千円(前連結会計年度末比770,104千円の増加)となりましたが、これは、主として現金及び預金が605,535千円、商品及び製品が144,283千円増加したことなどによります。

また、固定資産は6,388,948千円(前連結会計年度末比114,276千円の減少)となりましたが、これは、主として、建設協力金が52,814千円、のれんが75,815千円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は8,554,993千円(前連結会計年度末比567,333千円の増加)となりました。

流動負債は4,086,475千円(前連結会計年度末比106,670千円の増加)となりましたが、これは、主として、支払手形及び買掛金が252,096千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が84,983千円、1年内償還予定の社債が45,000千円減少したことなどによります。

また、固定負債は4,468,518千円(前連結会計年度末比460,662千円の増加)となりましたが、これは、主として、社債が530,000千円増加し、長期借入金が78,077千円減少したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,397,814千円(前連結会計年度末比94,345千円の増加)となりました。主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上で159,407千円増加し、配当金の支払で46,537千円減少するなどにより104,060千円増加し、資本剰余金が新株の発行で26,036千円増加し、自己株式の消却で73,464千円減少するなどにより72,274千円減少し、また、自己株式を取得を42,943千円、消却を82,274千円行なったことにより39,330千円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想は、平成28年11月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社以外の子会社の異動)

持分法適用会社でありましたジーン株式会社の株式を追加取得したことにより議決権比率が50%を超えたため、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、業績に与える影響は軽微であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,039,074	2,644,609
受取手形及び売掛金	562,510	506,365
商品及び製品	1,833,306	1,977,590
貯蔵品	2,412	2,245
前渡金	24,360	26,845
前払費用	176,366	189,914
繰延税金資産	27,572	25,950
預け金	82,399	143,178
未収収益	48	39
短期貸付金	3,150	1,525
未収入金	13,475	19,611
立替金	1,338	1,541
その他	16,345	12,706
貸倒引当金	△5,562	△5,220
流動資産合計	4,776,799	5,546,904
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	1,585,886	1,578,571
建物及び構築物(純額)	1,392,581	1,397,895
土地	881,217	881,217
その他(純額)	542,636	599,053
有形固定資産合計	4,402,321	4,456,737
無形固定資産		
ソフトウェア	15,942	19,790
のれん	335,663	259,847
電話加入権	6,828	6,828
水道施設利用権	757	557
無形固定資産合計	359,192	287,024
投資その他の資産		
投資有価証券	68,793	63,371
建設協力金	439,985	387,171
差入保証金	1,026,618	1,004,095
繰延税金資産	70,327	67,418
出資金	12	12
長期貸付金	17,051	9,431
破産更生債権等	9,821	9,787
長期前払費用	119,929	114,748
貸倒引当金	△10,829	△10,849
投資その他の資産合計	1,741,711	1,645,186
固定資産合計	6,503,225	6,388,948
繰延資産	11,104	16,954
資産合計	11,291,129	11,952,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,568,120	1,820,217
1年内返済予定の長期借入金	1,459,322	1,374,339
1年内償還予定の社債	195,000	150,000
1年内支払予定の長期割賦未払金	302,399	309,201
未払法人税等	61,273	87,282
未払費用	6,305	7,460
前受金	27,042	24,819
リース債務	33,886	29,581
資産除去債務	12,580	5,521
未払金	205,563	218,145
未払消費税等	84,716	37,167
預り金	23,335	22,693
その他	258	45
流動負債合計	3,979,804	4,086,475
固定負債		
社債	495,000	1,025,000
長期借入金	2,542,507	2,464,430
長期割賦未払金	479,619	491,756
役員退職慰労引当金	110,304	126,832
退職給付に係る負債	112,158	108,987
資産除去債務	78,183	79,289
リース債務	53,609	46,690
長期末払金	598	329
長期預り敷金保証金	135,874	125,201
固定負債合計	4,007,855	4,468,518
負債合計	7,987,660	8,554,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,552,706	1,578,743
資本剰余金	1,156,116	1,083,841
利益剰余金	506,346	610,407
自己株式	△39,383	△52
株主資本合計	3,175,787	3,272,940
新株予約権	113,556	115,230
非支配株主持分	14,125	9,643
純資産合計	3,303,468	3,397,814
負債純資産合計	11,291,129	11,952,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,589,684	13,522,825
売上原価	9,127,030	9,000,046
売上総利益	4,462,653	4,522,778
販売費及び一般管理費	4,196,631	4,154,136
営業利益	266,021	368,641
営業外収益		
受取利息	11,455	8,925
受取配当金	680	640
受取保険金	4,082	1,342
その他	8,917	5,114
営業外収益合計	25,135	16,022
営業外費用		
支払利息	45,806	36,654
支払保証料	5,293	3,857
持分法による投資損失	1,084	32
社債発行費償却	8,228	4,670
その他	7,946	18,049
営業外費用合計	68,359	63,263
経常利益	222,797	321,401
特別利益		
負ののれん発生益	4,738	4,176
新株予約権戻入益	16,378	211
その他	2,909	—
特別利益合計	24,025	4,388
特別損失		
減損損失	9,335	—
店舗閉鎖損失	49,306	17,540
段階取得に係る差損	—	5,389
その他	1,269	300
特別損失合計	59,910	23,230
税金等調整前四半期純利益	186,913	302,559
法人税、住民税及び事業税	71,685	133,763
法人税等調整額	13,611	4,531
法人税等合計	85,296	138,294
四半期純利益	101,616	164,264
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,932	4,856
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,684	159,407

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	101,616	164,264
四半期包括利益	101,616	164,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,684	159,407
非支配株主に係る四半期包括利益	1,932	4,856

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月4日開催の取締役会において自己株式の消却を決議し、平成28年12月28日付で自己株式2,130,000株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金73,464千円、利益剰余金8,809千円及び自己株式82,274千円がそれぞれ減少しています。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,464,522	2,198,174	528,653	398,334	13,589,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,215	1,549	—	50,557	76,322
計	10,488,737	2,199,723	528,653	448,892	13,666,006
セグメント利益又は損失(△)	63,144	133,652	93,774	19,676	310,248

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	310,248
セグメント間取引消去	24,967
全社費用(注)	△69,194
四半期連結損益計算書の営業利益	266,021

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「食料品・生活雑貨小売事業」セグメントにおいて、みなし取得日が平成27年9月30日である株式会社ニッパンを新たに追加しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては4,738千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,464,156	2,055,131	627,178	376,358	13,522,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,256	811	—	47,086	72,154
計	10,488,413	2,055,942	627,178	423,445	13,594,979
セグメント利益又は損失(△)	167,348	111,663	136,121	9,117	424,251

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	424,251
セグメント間取引消去	24,446
全社費用(注)	△80,056
四半期連結損益計算書の営業利益	368,641

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「食料品・生活雑貨小売事業」セグメントにおいて、平成28年4月1日付けで株式の追加取得をしたジーン株式会社を追加しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては4,176千円であります。